

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 1

新刊  
道外百人一首全

利9  
3597

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6  
JAPAN  
Tajima



戲劇山人編

狂風集

新串戲百人一首全

東都

書房用梓

利  
3597



往古定家公の小山倉山の山花小百人一首の  
新串戲の百人一首全  
東都書房用梓  
利 3597



古今集序  
 人麿の赤人の心  
 ことごとく赤人の  
 人麿の心  
 ことごとく  
 赤人の  
 心



歌  
 ことごとく  
 赤人の  
 心  
 ことごとく  
 赤人の  
 心



六樹園





天智天皇

秋の田

稲の穂

脊負

我

ぬれ汗

大正五年十月三日  
室井平藏氏贈

おもひたすらくと書肆のまこと久小藤  
 小倉館の志は終つて腰に短刀を懸け  
 藤ふらぬれくふふとてまはるるは  
 秋の夜のふらふらと葉の音も  
 のりたふらば徒然とてかたきつとて  
 名もなき者ふとてふらふらとて  
 弘化の世をひのき  
 室井平藏氏



持統天皇

百八

持統天皇

御宇

御宇

御宇

御宇

御宇

御宇



三

持統天皇

御宇

御宇

御宇

御宇

御宇

御宇



百八







中納言お將

お君の

おの

白

舞

文



安の仲磨

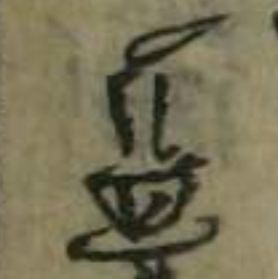
古

ら

ら

の

お

















河原元大臣

實金のりまじり

おきりくふ

みぢれ

我か



光孝天皇

油口の

布子の

臭い

我

かき





中代公平

那のりつと

湯之く

おろと

さうと

の



在糸業平

家根舟

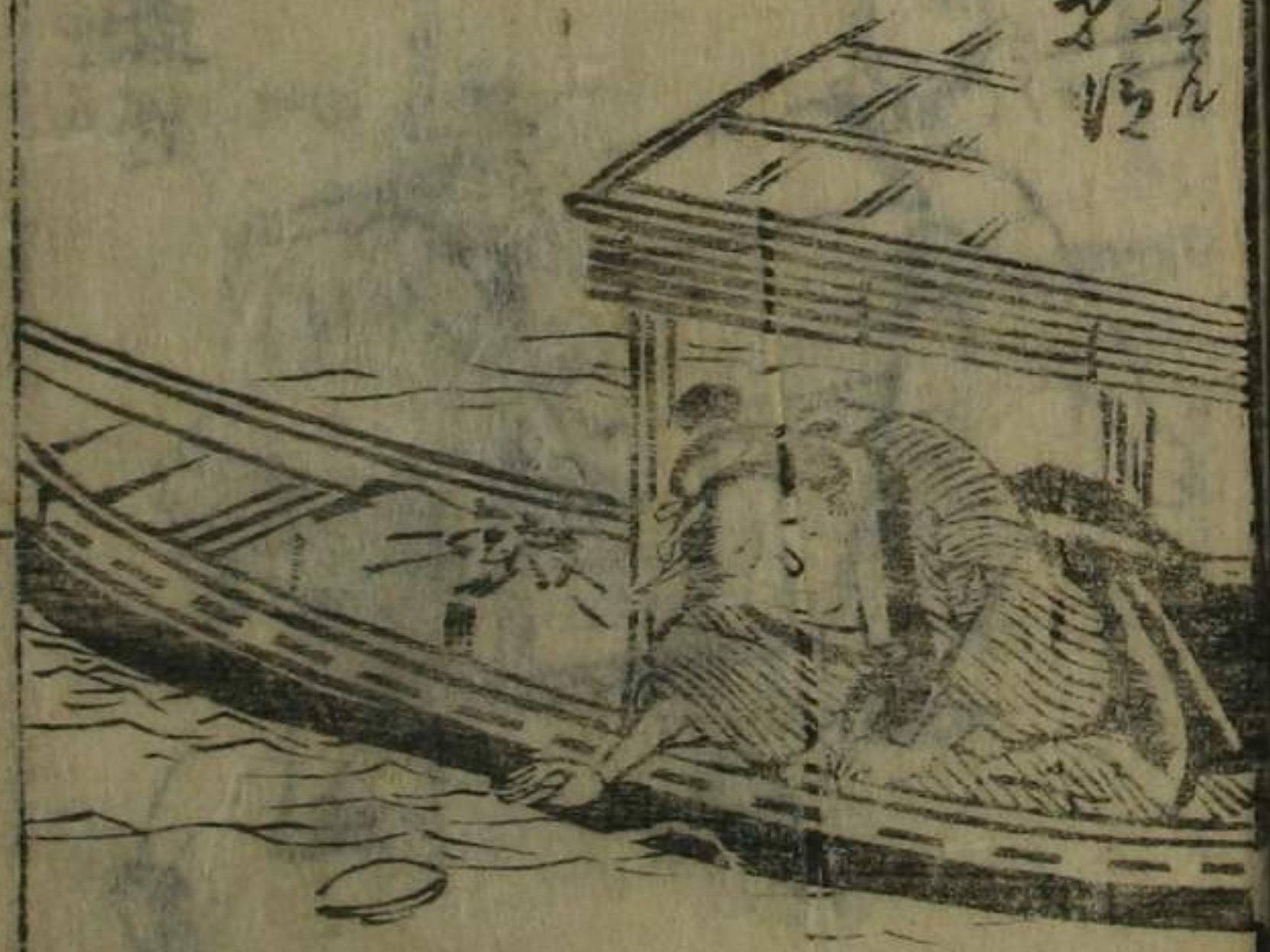
さうと

つと

おくれ

な

な





藤原敏光朝臣



代官







素性法師

新川の

二十一年の夏

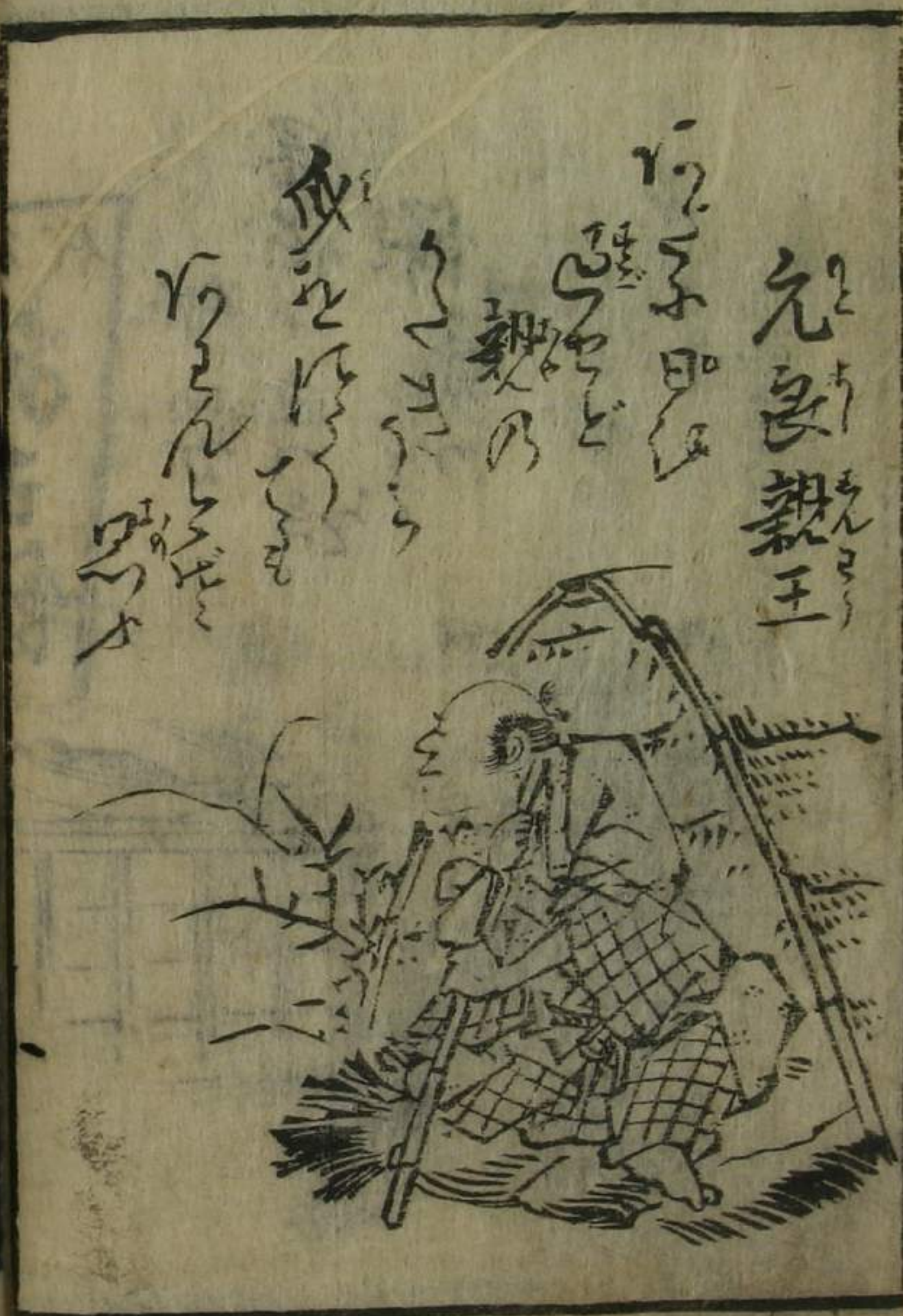
家ハミヤ

何アツル

月

カクシ

ウキ



元良親王

何アツル

月

カクシ

ウキ

何アツル

ウキ



大紅千里  
 我州  
 秋  
 秋  
 秋



文屋康秀

おの  
 秋  
 秋  
 秋  
 秋













源宗千朝臣

虎の山

秋のつれ

ふれ

人

つれ

つれ



九河内躬恒

眼

つれ

つれ

子休等

つれ

つれ













老<sup>おきな</sup>果<sup>は</sup>て  
 あまむす  
 返<sup>かへ</sup>り  
 老<sup>おきな</sup>の  
 子<sup>こ</sup>の  
 老<sup>おきな</sup>の  
 子<sup>こ</sup>の

老貫之



友<sup>とも</sup>の  
 友<sup>とも</sup>の  
 友<sup>とも</sup>の  
 友<sup>とも</sup>の  
 友<sup>とも</sup>の  
 友<sup>とも</sup>の  
 友<sup>とも</sup>の  
 友<sup>とも</sup>の

友の友









桑議等  
 上  
 人の命  
 あま  
 人の命



右近  
 人の命  
 あま  
 人の命





平氣盛

人志

忠堂

堪

好

此のとき



士生忠見

カ

カ

カ

人志

カ



カ

カ



清尔之痛  
きよのりのもう

挽久  
ひんきゅう

色  
いろ

と  
と

おのひさま

糸の松  
いとのまつ

山あそ  
やまあそ

しん



中納公熟忠  
ちゅうなごんじゅちゅう

石年  
いしねん

のり  
のり

おのひさま

おのひさま

おのひさま





中術之忠

飯上

今

人

之



謙徳公

取

茶

子

柳

之

東













藤原義孝

藤原義孝

ゆきこ

ゆきこ

ゆきこ

あつた

うき

うき



藤原義孝

藤原義孝

ゆきこ

ゆきこ

ゆきこ

あつた

うき

うき







右大将道續母

我

あは

あは

い

あは

百

廿九



藤原道信朝臣

獨

あは

あは

あは

あは

百

廿九







提灯夜  
 紫式部  
 後  
 夜半の月  
 夜半の月



和泉式部  
 焼  
 今  
 子











伊勢の八幡  
 道の  
 多き  
 白ひ



小式部卿  
 夜  
 何  
 何



左京大夫  
道雅  
新  
母  
人



清少納言  
悪  
能  
人  
よ  
園





権中納言

奉定の

奉定

何れ

カ

何れ



相模

不仕

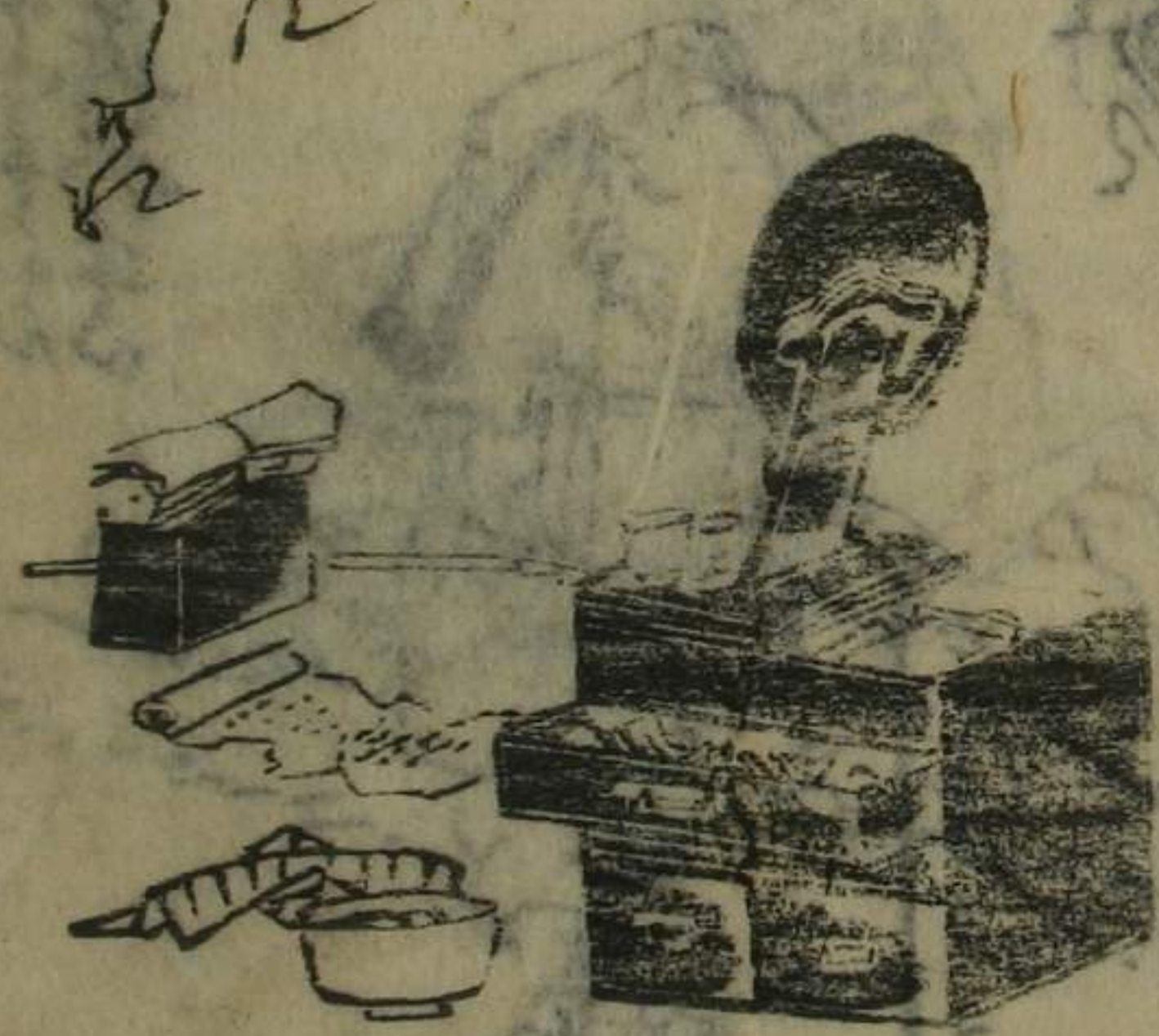
知

知

奉

奉

奉













良遣法師

佛之法

獨坐阿彌

何也

い

飲の酒



大術玄經信

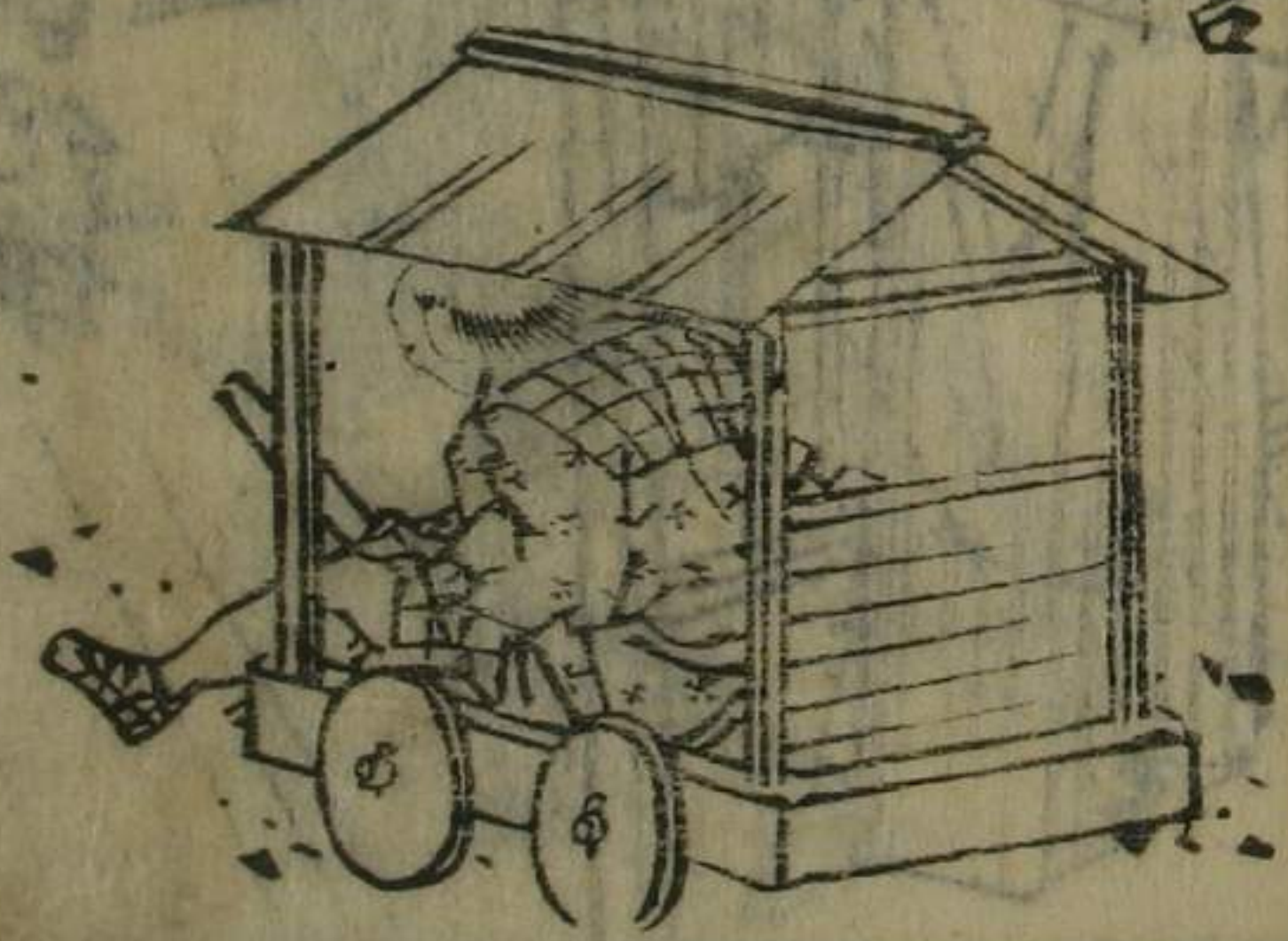
居る

車

何

何

然





袴子内親三郎紀伊

御立

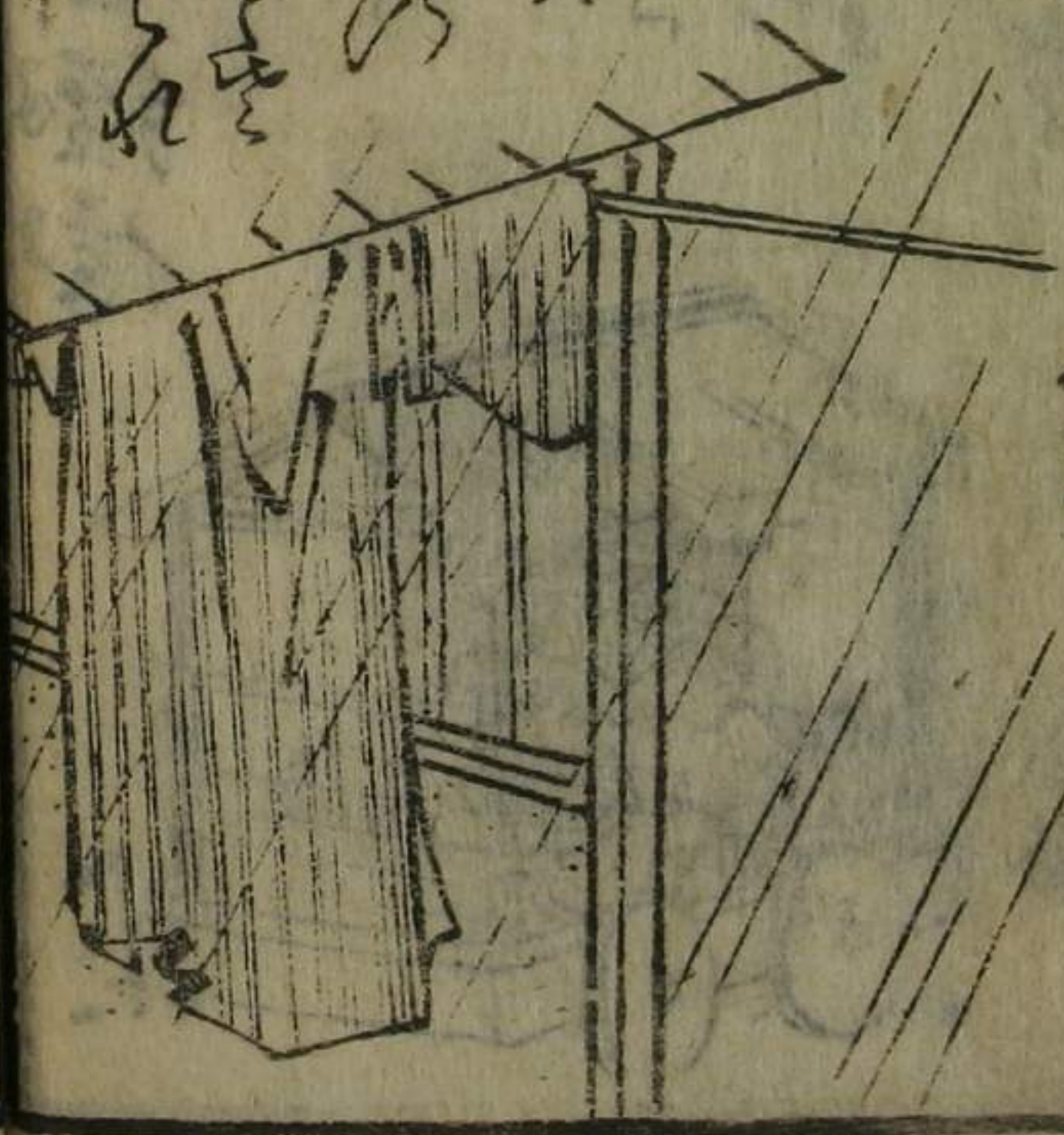
のころ

のころ

のころ

御立

御立



三刺中絶云匡房

越中の返魂丹

奇

外

の

の









法性寺(道)園白大政大臣

仍勅使

千鳥の

うさぎ

新井小

おき



崇徳院

侍

あま

後

うさぎ

あま



頁

四



源兼昌

源平の

いんま

あま

あま

あまの



左京奈須

あま

あま

あま

あま







後徳大寺左大臣

飯  
 駿  
 今  
 月

侍  
 院  
 堀  
 川



夜  
 通  
 の  
 新  
 婦  
 燈  
 籠  
 物



道同法師

後之

ふらふ

神乞

くくく

あきあき



白王大后宮太夫俊成

猫毛

大毛

山の奥

麻が









寂蓮法師  
 荒海小鯨ハ  
 源ハ  
 吹  
 主簿  
 秋乃知登



西乃法師

一ハ  
 影子  
 秋乃知登  
 我





白王嘉門院引當

安珠乃河と云

三茶

日高川

成を

住くところ

なほと云



式子内親王

喜み

舞の

くらの

まの

よら

よら





段室門院大権

ぬり

あつ

あつ

あつ

あつ



後京極攝政大臣大政大臣

居

あつ

あつ

あつ

あつ

あつ





二條院ふたにょういん横波よこなみ

善光寺ぜんくわうじ

愚おろそか五ごのの院いん

淨じやう鏡きやう如にょ來らい

人ひと正ただ統と統と

一いつのの朝あさ霧きり



鎌倉かまくら右大臣みぎのちみん

大おほ風かぜ子こ

沖おき小こ舟ふねのの

今いま夕ゆふ時とき

海うみ士しのの

小こ舟ふねのの

松まつをを糸いと毛も



百八

四九

夏

四六



系儀雅經

子の推し  
親あり  
好むと  
新し月を



前大僧正意圖

山寺の徳書

我より推し  
松免の袖





入乃新大政大臣

大

つれづれ

あつめ

まじり

あつめ

我身

りま



権中紀玄定家

舟

物の

ま

うれ

焼

ゆ

こ





正三位家隆

ふゆ

おと

い

ま

ふ

あ

り



後鳥羽院

か

り

あ

い

ふ

ゆ





下  
カ  
リ  
。

紅英堂 萬屋吉元

中かしの馬所二丁目

八木 芥子

順徳院

代々の分限

蔵小積

金の

貯りあり

あり

あり



頁

五十二



